

令和5年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン 全体計画

多摩市立北諏訪小学校

教育目標

考える子ども

(進んで取り組み、思考力・表現力を高め、最後までやり抜くことのできる確かな学力を育む)

思いやる子ども

(互いのよさを認め、自己を見直し、思いやりのある行動のできる豊かな心を育む)

きたえる子ども

(めあてをもって、取り組み続けることのできる強い意志と健やかな体を育む)

学校経営方針 (学力向上にかかわる要点)

目指す学校像：「児童一人ひとりを大切にし、家庭・地域から信頼される学校」

・「分かる楽しさ、できる実感、伝える喜びを大切にす学校」を達成するために

- ア 「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力の育成を目指す。教育課程を教科横断的な視点で見直すとともに、2学期制の利点を生かし、家庭・地域と連携を図りながら教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントによる年間指導計画と授業改善を進める。
- イ 教科担任制・学級担任制両方の利点を生かした指導体制と ICT 機器の効率的活用により、児童が各教科の「見方・考え方」を働かせ、課題解決する力を育てられるよう、主体的・対話的で深い学びを具現化する授業の質の向上に取り組む。
- ウ 2学期制の利点を生かし、行事の配置を工夫しながら、習熟度別指導、ピアティーチャーを効果的に活用した指導、発展的指導等、個に応じた指導の充実により、学力の2極化の解消を目指す。

本校における「身に付けたい学力」

全国学力・学習状況調査結果や日々の児童の実態から、大きな課題は論理的な思考に見られたことを受け以下のように設定する。

- ・基礎的・基本的な学習内容を正しく理解し、技能を身に付けることができる力 (知識及び技能)
- ・学んだことを活用し、様々な方法で、論理的に表現する力 (思考力・判断力・表現力等)
- ・興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く、主体的に学習する力 (学びに向かう力・人間性等)

本校の授業改善に向けた視点と方策

教育課程編成上の工夫	評価活動の工夫	指導内容・指導方法の工夫	校内における研究や研修の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○児童・地域の実態に合った、教科等横断的なカリキュラム・マネジメント。 ○反復・発展的な学習の充実や緊急時に備え、余裕をもった年間指導計画の作成。(2学期制、授業日数207日、週最大29時間確保の週時程) 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元末のワークテスト、東京ベーシック・ドリル等を活用した児童の実態把握。 ○評価規準、評価計画、実態に則した評価方法の見直し。 ○外部評価の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎時間、1単位時間のねらいの精選と明示。 ○主体的・対話的な学習活動の充実。 ○児童の振り返りを重視した授業づくり。 ○算数少人数授業(習熟度別指導)やPTの効果的な活用による個に応じた指導。 ○ICT機器の効果的な活用。 ○教科担任・学級担任の利点を生かした指導体制 ○毎日、発達段階に合わせた宿題を提示し、基礎基本と学習習慣の定着を図る。(自主学习等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究の充実 主体的・対話的で深い学びを具現化する授業づくり。 ○OJTの充実 教員間の授業公開、指導教諭と若手教諭の相互授業公開、全教員参加型の校内OJT研修 ○ICT機器研修の充実。